第17号　平成5年3月1日発行

福祉つるみ

題字　石田菊雄氏

編集・発行　鶴見区社会福祉協議会
鶴見区福祉の風土づくり推進委員会
鶴見区役所　福祉課内
TEL 503－1212　内線304
印　刷　朝日オフセット印刷株式会社

本紙は年2回自治会・町内会のご協力で全世帯に配布しています。

「ボランティア体験が私を変えた」

第11回鶴見区社会福祉大会　開催

一月三十日、鶴見公会堂で鶴見区社会福祉大会が開催されました。「ボランティア」という言葉は耳にしますが、どんなものがあるか、自分に何ができるかなど判らないことも多いと思います。今回は、会社員が企業を離れて経験したボランティア活動から、どう感じ、何を考えたかを話していただきました。

きっかけは「定年後」

講師は、富士ゼロックス㈱海老名事業所総務部長の・磯部裕三さん。「長年会社人間として暮らしてきて、五十歳を過ぎ、これからの人生に危機感を抱きました。会社のこと、会社での自分の立場などを気にかけながらも、新たな暮らし方を探しに、ボランティアをスタートさせました。」

共生―数々の体験が人生観を変える

十カ月にわたるボランティア活動が、会場口ビーの写真展示やスライドを交えた講演で伝わってきました。「障害者の施設や、特別養護老人ホームなど、全く異分野から飛び込んだことで、当初戸惑いと不安がありました。が、肩書きを捨て、笑顔と素直な心で人と接していくうち、**奉仕でなく、ボランティアをしてよかった、してもらってよかったと、お互いに喜びを分かちあう気持ち**になりました。ボランティア活動によって、様々な立場、見方・感じ方が見えてきたのです。」



心にゆとりをもって考え、それをとにかく行動する

また、年をとってからの過ごし方について話しをされました。**「身近なことから考え、それを行動に起こしてみること。**私はヘビースモーカーですが、街路の汚れにも目が向くようになり、歩行中の喫煙はやめました。また、家庭を見つめ直し、家族の絆の重要性を実感しています。日頃気づかないことが見えてきて、一呼吸おいて考え行動することが、心にゆとりを与え、喜びを生む。**六十歳からの人生設計の良い学校**となる貴重な体験でした。」

福祉現場での体験から生まれた言葉が、会場に共感を呼びおこしました。

障害児者展示コーナー併設

大会では同時に、区の障害児者団体連合会による、障害者地域作業所や障害児訓練会の作品が展示されました。



八十七名に感謝状贈呈

大会に先立ち、第一部の表彰式典では、地域や障害者、お年寄りのために貢献・尽力された地域福祉功労者二十七名と、社会福祉増進のために善意銀行へ金品を寄贈された六十名の個人・団体にそれぞれ感謝状が贈呈されました。

第10回ふれあい運動会　開催される

十回を数え恒例となったふれあい運動会が、十一月八日、好天のなか鶴見小学校で行われました。日頃、あまり体を動かすことがない障害児者にとって、暖かい日の下、広い校庭で運動できることは、大変楽しみで、心待ちにしている行事です。

開催に際し、実行委員会が十一名で結成されました。障害児者団体をはじめ体育指導員、区内企業労働組合のボランティアの方々、区社協、区役所で構成されました。皆勤務時間外に集まり、どんな競技が喜ばれるか、安全性はどうか、一種目でも多く参加させることはできないかなど、夜何度も話し合われました。

当日は、競技者の招集、誘導や車椅子の人の介助のほか、昼休み時のブラスバンド演奏などを学生ボランティアに手伝っていただき、一層の盛りあがりを見せました。



年末福祉餅つき大会

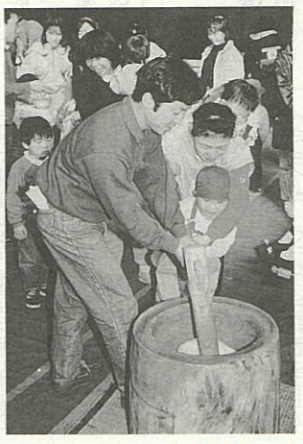
障害児者にとって、もう一つの楽しみは年末の餅つき大会です。今回は鶴見区青少年センターで十二月十八日に行われました。

区内の企業労働組合やみどりの会、鶴見会館の職員などが中心となって、当日までの準備となる道具揃えやスタッフの役割分担など、きめ細かい企画立てがなされました。

会場づくり、餅作りのためのガス管配管、また、お米とぎ、餅つき、きな粉・あんこを絡める、豚汁づくりとキビキビとボランティアが動いて大会が進められます。

また、餅つきだけでなく、「お正月」、「クリスマス」の歌が、アコーディオン伴奏にのって会場に響きました。

お腹いっぱいの満足感、手にしたお土産、それと沢山の人々とのふれあいで体じゅう暖まる餅つきとなりました。



ビデオになります　高齢者ボランティア

鶴見区ボランティア連絡会の活動が注目されています。七十代、八十代の人達もボランティア活動に取り組み、いきいきしています。

毎週土曜日にはボランティアサロンを開き、おむつたたみや区内の作業所から届いたボールペンの組立をしながら、日頃の活動などを話し合い、交流を深めています。

一月二十三日、押花入り名札を作成中、各地で福祉の講演をされている木原孝久先生（福祉教育研究所主宰）が忙しいスケジュールを縫っていらっしゃいました。





「体が不自由な一人暮らしのお年寄りの家でのゴミ出しの手伝い」や「お年寄りの話し相手」など、日常のボランティア活動の様子やボランティアの抱える悩みが話し合われました。

木原先生は、「東京都では四年前から高齢者によるボランティアが進められていますが、この会のような活動にはまだまだです」「日頃の活動から生まれたボランティアサロンも素晴らしいですが、皆さんの顔は輝いていて、まさにボランティア美人ですね」と絶賛。

この楽しい語らいのサロンの様子は、高齢者によるボランティアのモデルケースとして、ビデオに収録中です。ボランティア連絡会についてのお問い合せは（五七四）一〇六九まで。

区社協「法人化」せまる！

「福祉のまちづくり」を進めてきた区社協は、社会福祉法人（四月一日より）に生まれかわる準備を進めています。

社会福祉法人になると……次のことが変わります。

□社会的信頼と組織・責任体制が明確になります。

☺善意銀行への寄付について税法上の特例措置がありませんでした。⇦

☺所得税など、税法上の特例措置が受けられます。

☺区社協の財産などは税法上の特典はありませんでした。⇦

☺法人など区社協の財産は所得税などの免税措置が受けられます。

□住民主体の事業内容が一層充実し、ニーズへの対応が強化されます。

☺福祉専門職員がいませんでした。⇦

☺福祉専門職員を配置することができるので事業内容を充実できます。

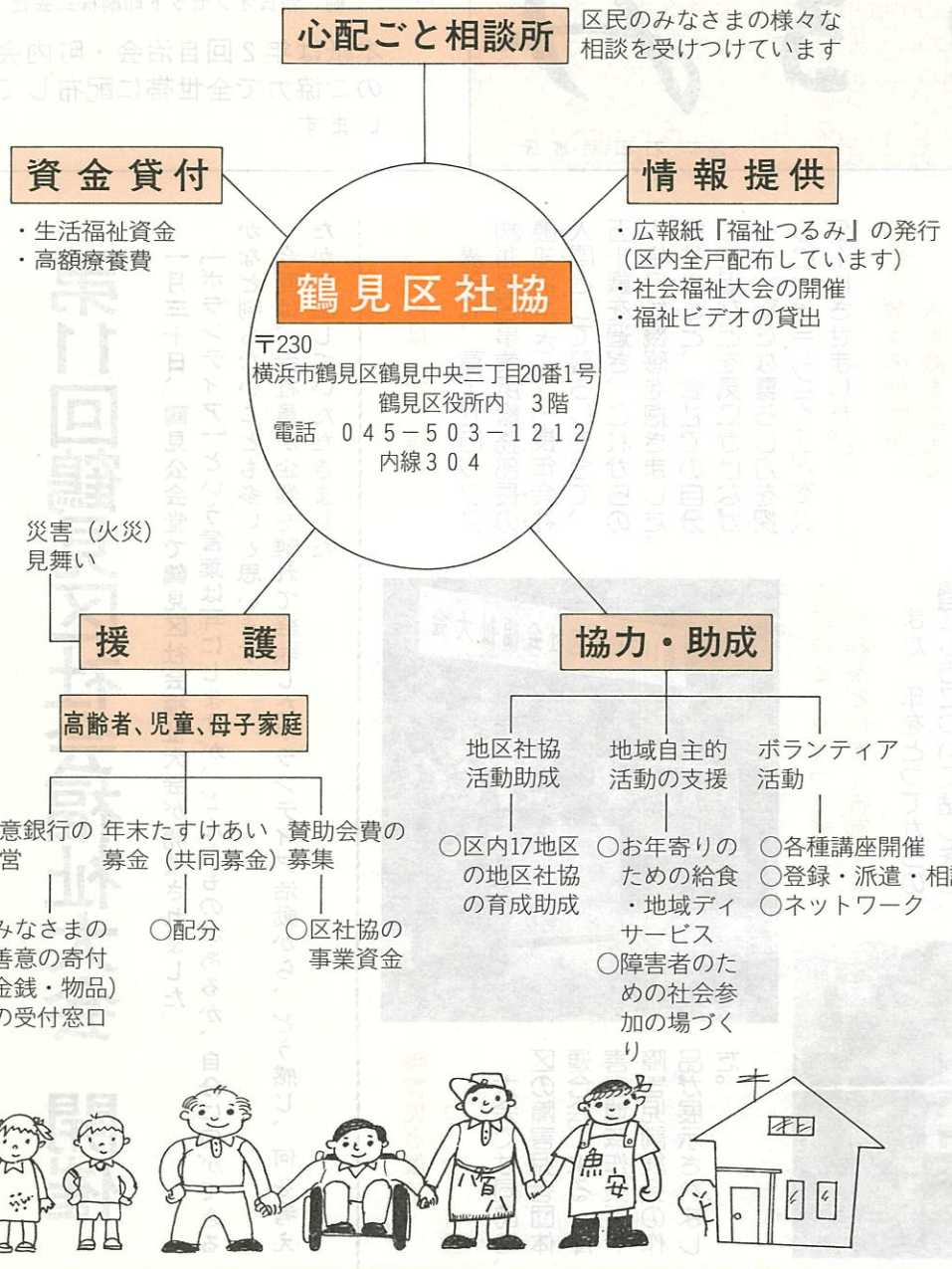
□区社協独自の事業が行えます。

☺これまでは、独自の事業は展開できませんでした。⇦

☺福祉関係の施設の受託・運営など、独自の事業が可能になり、在宅福祉サービスの充実ができます。

このように「区社協」はみなさまのご要望にお応えするため、一層の努力を重ねてまいりますので、ご理解とご協力をぜひお願いいたします。

鶴見区社協（鶴見区社会福祉協議会）の事業



新しい民生委員・児童委員が決まりました

三年に一度の民生委員・児童委員の一斉改選が、平成四年十二月一日に行われました。

鶴見区では、新しい委員三十七名を含む二五一名の方々に、厚生大臣から委嘱状、横浜市長から辞令が伝達されました。

委員は、「地域と行政とのパイプ役」として、各々担当の区域で、福祉活動にご尽力いただきます。また、十七地区より各一名ずつで構成される心配ごと相談所では、相談員が毎週火曜日に日常生活の相談に適切な助言援助をしており、さらに年二、三回移動・合同相談も行われています。

高齢化がすすみ、家族構成が変化していることで、人々の抱える問題も一層複雑多様になり、個人や家族の努力では解決策を見いだせないことも増えてきています。

委員は特別職であり、活動にあたって、個人の人権を尊重し、相談については秘密を守る義務があります。お困りの方は、お近くの委員までお気軽にご相談ください。

ご近所の民生委員・児童委員については区役所保護課事務係（内線三〇七）、区社協（内線三〇四）または各地区の総務までお尋ねください。

生活の様々な場面でいろいろな方にご協力をいただいています

民生・児童委員以外にも、いろいろな方々の協力によって、福祉活動は支えられています。

「老人福祉推進員」は、老人クラブを基盤に、高齢者間での活動を一層進めるため、地域での実践活動や情報の伝達、行政機関や民生・児童委員の事業・活動への協力をしています。

また、身体障害者やその家庭の悩みごと、知的障害者の家庭での相談や指導については、各々「身体障害者相談員」（二名）、「精神薄弱者福祉推進員」（五名）の協力をもって、福祉事務所や施設など関係機関との連絡にあたっていただいています。

善意銀行　ご寄付をありがとうございました

平成四年七月二十五日～十二月三十一日
（　）内は寄付回数です

金銭をお寄せいただいた方々

アート鶴見岩田バレエ・大沼京浜運輸労働組合・アマチュア無線145・78愛好会川崎・石川トキエ(6)・岩堀省三郎・内田政彦・内田八江子・梅田久(5)・小高幸子・小高光江・小野梅子・小野芳太郎・小野崎照子・㈱マルコシ・㈱イケダ自動車(2)・㈱住友銀行鶴見支店・㈱富士銀行鶴見支店行員一同・神奈川へら鮒釣研究会・日研神奈川支部・神奈川リオネット販売㈱・上末吉地区社会福祉協議会・亀山實・環境事業局鶴見事務所・希望更生会・草の実会・健康ストレッチソシアルダンス・小嶋七郎(2)・小堀五男・桜井典夫・佐藤トシ子・篠田静枝・澁倉マス・JR鶴見駅長・消費生活推進員東京ガス鶴見支社・菅野次郎・すみれクラブ、キビタスの会有志・田上太郎・竹田富美・田原ノブ子(5)・小さな善意で大きなチカンパ金日本鋼管京浜労働組合・長恒雄・つくの商店街協同組合・鶴見区環境事業協力員連絡会・鶴見区更生保護婦人会・鶴見区障害児者団体連合会・鶴見区食品衛生協会・鶴見区婦人団体連絡協議会・鶴見区佛教婦人会・鶴見区ボランティア連絡会・鶴見スポーツセンター社交ダンス教室一同・鶴見倉庫㈱・鶴見塗装協同組合・鶴見東町会・戸井田啓治(2)・道志を愛する鶴見友の会・東京ガス㈱鶴見工場・豊岡商店街協同組合・中川きよの(2)・中島明高・長山朝春、栄江(4)・生麦地区センターのびやか体操・成嶋正信・新垣正雄・服部嘉克・はねこんまの会・樋口礼子・ファイバーリサイクルを考える会・婦人体操クラブあしたば・万本ダンス教室・三須洋子(7)・宮井シゲノ・やよい会・山本貞子・横浜鶴見ライオンズクラブ・横浜市寺尾地区センター・横浜市生麦地区センター・横濱金作・米山マツ

物品をお寄せいただいた方々

阿部チヨ(2)・石川喜教・石川はつよ・円城寺友子・小野和子・小野貞子・㈱シンクウェア・木村勝美・こまくさの会・佐竹波満子・鈴木利子・高城房子・高橋作三・鶴見区子供会連絡協議会・鶴見懇話会・鶴見浴場組合・鶴見ライオネスクラブ(3)・東京電力㈱鶴見支社・中川茅乃・日東発条㈱・野村證券鶴見支店・橋本正子・畑節子・堀口伸一(2)・東寺尾東台ことぶき会・松元貞子・矢野三男・横浜鶴見北ロータリークラブ

（敬称略・順不同）

福祉基金にみなさんの善意を

今後、社会福祉協議会の役割は一層重要になり、法人化に伴って独自財源も必要となります。おもいやりのあふれるまち鶴見の福祉をより豊かに拡げるために、あなたの善意を福祉基金にお寄せください。

編集後記

誰もが住み慣れた地域で心豊かにいきいきと暮らす為に、思いやりのある温かい社会の形成に努めていきたいという思いはお持ちでしょう。

今号はボランティア活動を中心に福祉大会、ふれあい運動会、餅つき大会、そして区社協の法人化など沢山の方々の温かい活動内容を掲載させていただきました。

人はひとりでは生きられるものでなく、ましてはお金では買えません。何より健康と、人と人との温かい結びつきが大切です。

お年寄りのよくおっしゃる「おかげさまで」「もったいない」等々の言葉の意味を若い人もよく噛みしめ、お互いに自立できるよう助け合っていきたいものです。

（米山マツ）